

平成 25 年度 再々評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	清滝川砂防事業
担当部署	都市整備部河川室河川環境課砂防グループ（連絡先 06-6944-9302）
事業箇所	四條畷市清滝
再々評価理由	再評価後 5 年経過
目的	本溪流は溪岸・溪床の浸食が著しいため、土石流等の発生による災害から府民の生命・財産を保護するため溪流保全工を整備する。
内容	溪流保全工 溪流保全工 L=1.0 km
事業費 ( ) 内の数値は 前回評価時点のもの	全体事業費：約 12.6 億円（国：6.3 億円、府：6.3 億円） （内訳）調査費等約 1.3 億円 【工事費の内訳】 用地費 約 3.9 億円 溪流保全工 約 7.4 億円 工事費 約 7.4 億円
事業費の変更理由	【事業費変動要因の状況】 — 【他事業者との協議状況】
維持管理費	必要なし

2 事業の必要性等に関する視点

	【事前評価時点 S57】	【再々々評価時点 H20】	【再々々々評価時点 H25】	【変動要因の分析】
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	災害発生の危険度 流域の地質は脆弱な風化花崗岩であり、近年特に上流の土砂採取並びに都市化の進展により市街化が進んでいるため、出水期には人家への被害が及ぶ危険性がある。 保全対象 人家 83 戸 道路 1572m	左記に同じ	左記に同じ	

	【事前評価時点 S57】	【再々々評価時点 H20】	【再々々々評価時点 H25】	【変動要因の分析】
地元等の 協力体制等	防災事業として認識されており、事業に対する協力を得ている。	左記に同じ	左記に同じ	
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	【効果項目】 人命保護 家屋被害軽減 公共・公益施設被害軽減 【分析結果】 ・ B/C=- B=- C=- 【算出方法】 計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。 【受益者】 土石流等の氾濫想定区域内の住民	【効果項目】 左記に同じ 【分析結果】 ・ B/C=2.06 B=47.9 C=23.2 【算出方法】 国土交通省河川局砂防部「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」（平成 12 年 2 月） 【受益者】 左記に同じ	【効果項目】 左記に同じ 【分析結果】 ・ B/C=2.04 B=48.1 C=23.6 【算出方法】 国土交通省水管理・国土保全局砂防部「砂防事業の費用便益分析マニュアル」（平成 24 年 3 月） 【受益者】 左記に同じ	【B / C 算出後再確認】 事業期間が延びたことによる費用便益比の減
事業効果の 定性的分析 (安心・安全、活力、 快適性等の有効性)	【効果項目】 対策施設の整備により溪流の安全性が飛躍的に向上する。 【受益者】 土石流等の氾濫想定区域内の住民	【効果項目】 左記に同じ 【受益者】 左記に同じ	【効果項目】 左記に同じ 【受益者】 左記に同じ	
事業の進捗状況 <経過> ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③ 完成予定年度	①昭和 57 年度 ②昭和 57 年度 ③昭和 60 年度	①昭和 57 年度 ②昭和 58 年度 ③平成 22 年度	①昭和 57 年度 ②昭和 58 年度 ③平成 29 年度	重点箇所への事業費配分等によるもの
<進捗状況>		・全体 90% (11.4 億円 / 12.6 億円) ・用地 100% (3.9 億円/3.9 億円) ・工事 85% (6.3 億円/7.4 億円)	・全体 92% (11.6 億円 / 12.6 億円) ・用地 100% (3.9 億円/3.9 億円) ・工事 86% (6.4 億円/7.4 億円)	

事業の必要性等に関する視点における判定（案）	当該溪流の氾濫区域内に存する人家・道路などの保全対象施設を土砂災害から守る手法として、溪流保全工事の必要性については変化がないため、事業を継続する。
------------------------	--

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点における判定（案）	用地及び工事用進入路は全て確保済みであり、事業費配分の目途がたったことから、事業を継続する。
-----------------------	--

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点における判定（案）	工事費による進捗率は <b>86%</b> であり代替案の余地はないため、事業を継続する。
------------------------------	---

### 5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	溪流保全工の施工において樹木の伐採が伴うが、その範囲を最小限に止め、自然環境への影響を極力軽減する。
前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—
その他	【上位計画】 「大阪府都市整備中期計画（案）改訂版」（H24.3）

### 6 評価結果

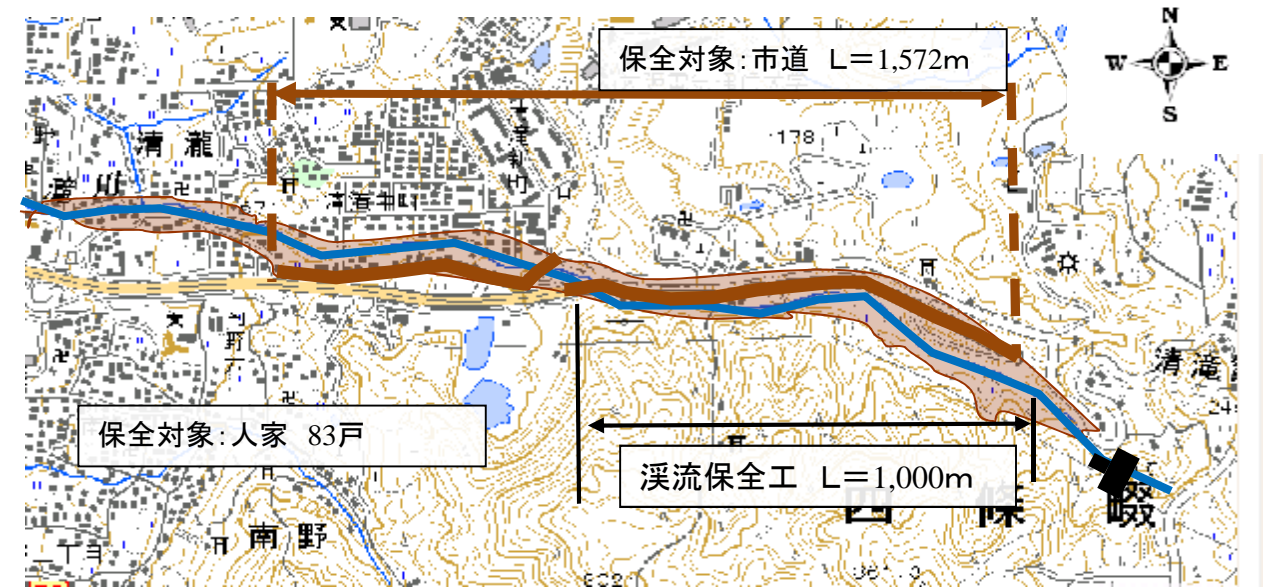
評価結果	○継続 <判断の理由> 工事の進捗率は <b>86%</b> であり代替案の余地はなく、平成 <b>29</b> 年度までに完了する予定であり、事業の必要性についても変化ないことから、事業を継続する。
------	--

平成25年度 再々評価 (清滝川砂防事業)

事業箇所図



平面図



現況写真



標準断面図

